

情報通信審議会 情報通信技術分科会

電波利用環境委員会 CISPR B作業班（第16回）議事要旨（案）

日時：平成30年9月3日(水) 15:00~17:00

場所：TKP 麴町駅前会議室 カンファレンスルーム 8A

出席者（敬称略）：

（構成員）

主任	清水 敏久	首都大学東京大学院 理工学研究科 教授
主任代理	久保田 文人	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 参与
	塚原 仁	日産自動車(株) 電子・電動要素開発本部電子システム開発部電子信頼性グループ 主査
構成員	石垣 悟	日本無線(株) 事業統括部 担当部長
	井上 博史	(一社)日本電機工業会 技術部技術企画課 担当課長
	橋高 大造	(一社)電波産業会 研究開発本部電磁環境グループ 主任研究員
	木下 正亨	(一社)電子情報技術産業協会 ISM EMC 専門委員会
	小泉 敦史	東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部電気ネットワーク部 課長
	小玉 博一	シャープ(株) エネルギーソリューション事業本部エネルギーシステム事業部システム技術部 主任
	田島 公博	NTTアドバンステクノロジー(株) グローバル事業本部環境ビジネスユニットEMCセンター リーダ(主席技師)
	中村 一城	(公財)鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部ネットワーク・通信研究室 室長
	野本 智	超音波工業会 技術委員会
	橋本 明記	日本放送協会 技術局送受信技術センター企画部 副部長
	平野 知	日本医療機器産業連合会 EMC 分科会 副主査
	福地 一	(一財)電波技術協会 参与
	峰松 育弥	(一社)KEC 関西電子工業振興センター 試験事業部 EMC・安全技術グループ
	宮島 清富	(一財)電力中央研究所 電力技術研究所雷・電磁環境領域
	村上 直弘	電気事業連合会 情報通信部副部長
	山中 幸雄	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所電磁環境研究室 マネージャー
	山本 和弘	(一財)電気安全環境研究所 関西事業所
オブザーバ	井上 正弘	(一財)電気安全環境研究所 横浜事業所 EMC 試験センター
A作業班	雨宮 不二雄	NTTアドバンステクノロジー(株) グローバル事業本部環境ビジネスユニットEMCセンター
構成員	篠塚 隆	(国研)情報通信研究機構 電磁波計測研究所電磁環境研究室 協力研究員
	藤井 勝巳	(国研)情報通信研究機構 電磁波研究所電磁環境研究室 研究マネージャー
	三塚 展幸	(一財)テレコムエンジニアリングセンター 松戸試験所電磁環境・較正事業本部電磁環境試験部試験グループ 主任技師
関係者	田邊 一夫	日本大学
	中田 和成	キヤノンメディカルシステムズ(株)
	宮島 武史	(株)島津製作所

(事務局)

関口 裕	総務省	総合通信基盤局	電波部	電波環境課	電波利用環境専門官
谷口 智哉	総務省	総合通信基盤局	電波部	電波環境課	電磁監視官
戸部 絢一郎	総務省	総合通信基盤局	電波部	電波環境課	電磁障害係長

【配布資料】

資料 16-0	議事次第
資料 16-1-1	CISPR B作業班(第14回)議事要旨(案)
資料 16-1-2	CISPR B作業班(第15回)及びA作業班(第11回)議事概要(案)
資料 16-2	CISPR B小委員会 WG1 AHG5/AHG6 上海会議審議結果
資料 16-3-1	CISPR 釜山会議 B小委員会 総会 対処方針(案)
資料 16-3-2	CISPR 釜山会議 B小委員会 第1作業班(WG1) 対処方針(案)
資料 16-3-3	CISPR 釜山会議 B小委員会 第2作業班(WG2) 対処方針(案)
資料 16-3-4	CISPR 釜山会議 B小委員会 第4アドホックグループ(AHG4) 対処方針(案)
資料 16-3-5	CISPR 釜山会議 A/B 小委員会 第5・第6アドホックグループ(AHG5/AHG6) 対処方針(案)
資料 16-4-1	電波利用環境委員会報告概要(案)(B小委員会関連)
資料 16-4-2	電波利用環境委員会報告(案)(B小委員会関連)
参考資料 16-1	AHG5 In-Situ 18-04_INF reports in Vladivostok
参考資料 16-2	AHG6 heavy duty 18-02_INF Needs of new in-situ measurement in CISPR B 2017 Oct
参考資料 16-3	AHG4 WPT18-33 CIS B WG1 DA Busan
参考資料 16-4	CISPR B作業班 構成員名簿

議論

(0) はじめに

- 事務局から配付資料 15 点についての確認(事務局)
- 構成員以外の会議参加者の紹介(A作業班構成員 4 名、関係者 3 名)

(1) 前回議事要旨(案)について

- 資料 16-1-1、16-1-2 の前々回、前回議事要旨(案)についての説明(事務局)
※修正意見等あれば 9 月 10 日(月)までに事務局まで連絡することで承認された

(2) CISPR A/B 小委員会 WG1 AHG5/AHG6 上海会議審議結果

<資料説明>

- 資料 16-2 CISPR B 小委員会 WG1 AHG5/AHG6 上海会議審議結果についての説明(田島)
 - AHG5 のスコープは「in situ measurement」、AHG6 のスコープは「measurement of large and high power equipment」であると確認された
 - 大きい装置の場合、工場出荷時に測定をする事も in situ に含めることが議論されたが、最終的に defined site として定義を分ける形になった
 - 前述の議論を受けて、各国で章立てを分担してドラフト案を作成する
 - 9/15 にドラフト案が配布予定となっており、釜山会議で New work item として提案される

(3) CISPR 釜山会議 対処方針(案)について

<資料説明>

- 資料 16-3-5 CISPR 釜山会議 A/B 小委員会 第 5・第 6 アドホックグループ(AHG5/AHG6) 対処方針(案)についての説明 (田島)
 - 審議項目 1～4 について、内容を確認する
 - 審議項目 5 について、前回会合で分担し、作成したドラフト案のレビューを行う
 - ◇ 日本として、必要な意見があれば、事前にドキュメントとして出したい
 - 審議項目 6 について、内容を確認する
 - 審議項目 7 について、他の CISPR 作業班と連携すべきに事項について議論する
 - 審議項目 8 について、前回会合の議論されたスコープやスケジュールについて確認する
 - 審議項目 9 について、内容を確認する

<質疑>

- AHG6 のスコープは「measurement of large and high power equipment」とあるが、high power に関して、容量としてはどの程度なるかという議論はあったか(清水主任)
 - 前回会合では、high power がどの程度の容量であるかという議論はなかった(田島)
 - ヨーロッパ各国の high power の認識が、送電用装置のような非常に大きな容量である可能性があるため、誤解のないようにしてほしい(清水主任)
 - 前回会合では、large に関しても、どの程度の大きさであるかという議論はなかった(中田)

- 大きさ、容量ともに各国の文化によって認識が異なる可能性がある(清水主任)
- ウラジオストック会合においても、具体的な基準を明確にする必要がある事は言及されていたが、まだ議論に至っていない状況である(中田)
- large and high power の基準を明確にする事を、対処方針に盛り込む(清水主任)
- in situ のリミット案として、中国から 3m、10m、30m の提案が出ている
 - 今まで 3m の値はなかったが、これについて意見はないか(田島)
 - 装置が大きい場合、どのように半径を取るのか検討しなくてはならない(清水主任)
 - 現状はどう対応しているのか(田島)
 - ◇ 距離を取れる場合は 10m でやるが、スペースの問題で 3m の事もある(中田)
 - ◇ 3m の場合は、10m に換算しているのか(田島)
 - ◇ 換算している(中田)
 - 例えば LCD ディスプレイでは、局所的に強いノイズを基準に低減策を検討するとシビアになってしまうため、バランスを考慮しながら議論すべきだ(清水主任)
 - in situ では、ケースバイケースなため、様々な測定方法を用いられるようにする事が適切である(中田)
- CISPR11 に関して、資料に in situ のリミットとして数値が出ているが、これは defined site で 3m、10m、30m で測定した場合のリミットということなのか(篠塚)
 - defined site ではなく、in situ である(田島)
 - 距離のとり方に関して、起点がアウトフェースなのか、敷地なのかを確認すべきだ(篠塚)
 - 換算の方法が分かっていないのではないかと(田島)
 - 方法の違いを明確にした上で議論をする必要がある(清水主任)
- 測定方法において、3m、10m のみで決めて作る必要性について、日本の意見を言うことは非常に意味がある(事務局)
 - 関連する業界を含めて意見を募り、議論をする必要がある(清水主任)
- それぞれの装置の大きさに即した測定が必要であり、様々な手法が検討できるため、案を出していきたい(三塚)
- 日本の立場や状況を説明し、理解をしてもらうことも必要なのではないかと(三塚)
 - グローバルな視点で議論を進めていきたい(清水主任)

<資料説明>

- 資料 16-4-1 電波利用環境委員会報告(案)(B小委員会関連)についての説明(田島)
※内容は特に異議なく承認された

<資料説明>

- 資料 16-3-1 CISPR 釜山会議 B委員会 総会 対処方針(案)についての説明(久保田)
 - 審議項目 1～7 までは、内容を確認する
 - 審議項目 8.1 について、INF 文書で提案されている事項の進行状況を確認する
 - 同じく、Amendment について、FDIS に日本意見が反映されているか確認する
 - 審議項目 8.2 について、ロボットについての測定要件は、B小委員会の見解を支持する

- 同じく、無線機能を持つ製品について、B小委員会と意見を揃える形で対応するが、状況に応じて追加記述を主張する
- 審議項目 8.3 について、FDIS に日本意見が反映されているか確認する
- 審議項目 8.4 について、今後 Amendment3 の一部として進めることを指示する
- 残りの審議項目については、内容を確認し、必要に応じて対応する

<質疑>

- 審議項目 8.4 について、Amendment3 とあるが、Amendment2 までしか発行できないのではないかと(井上(正))
 - 確認する(久保田)

<資料説明>

- 資料 16-3-2 CISPR 釜山会議 B小委員会 第1作業班(WG1) 対処方針(案)についての説明(久保田)
 - 審議項目 1～5 までは、内容を確認する
 - 審議項目 6.1 について、FDIS に日本意見が反映されているか確認する
 - 審議項目 6.2.1 について、WPTAAD を CISPR11 の対象にする事に反対する
 - 審議項目 6.2.2～6.2.5 について、審議の進め方等について確認する
 - 審議項目 7.1 について、直流端子伝導妨害波の要件適用拡大について、AHG3 で審議継続する事を提案する
 - 残りの審議項目については、内容を確認し、必要に応じて対応する

<質疑>

- アジェンダに追加すべき項目はないか(事務局)
 - 審議項目 8 の Amendment3 について、タイトルが不適切ではないかというコメントは事前に出したい(久保田)
- 審議項目 7.1 の直流端子伝導妨害波の要件適用拡大の提案について意見はないか(久保田)
 - これまでの経緯から AHG3 で議論する事が望ましいと考えている(井上(博))
 - 直流電圧が関わるポートに関して、広く議論するべきという意見があったが、現状では段階的に進めている(清水)
 - 直流電圧が関わるポートに関して、広く議論が出来る段階になってきているので、積極的に取り組みたい(井上(博))
 - 提案するにあたって、何かドキュメントを出すのか(事務局)
 - ◇ 確認できてない(井上(博))
- CISPR 全体で直流電源の系統に関するテーマがいくつかある状況である(事務局)
 - CISPR/H において、直流配電に関するテーマはあるが、日本としては整合性を保ちながら議論を進めている(井上(博))
 - CISPR/B と CISPR/H とは、テーマの対象範囲は異なっているが、場合によっては協調しながら進めたい(清水)
- AHG3 では、DC のパブリックネットワークについては議論されているか(山中)

- 今後議論がされると考えられる(井上(博))
- CISPR/Hでも議論がされており、CISPR/Bと協調していきたい(山中)
- AHG3の中では、接地条件などを整理した上で議論がされていく(清水主任)
 - ◇ DCのパブリックネットワークのインピーダンスをどう設定するか、あるいはどう測定するかによって限度値が変わってくる(小玉)

<資料説明>

- 資料 16-3-3 CISPR 釜山会議 B小委員会 第2作業班(WG2) 対処方針(案)についての説明(宮島(清))
 - 審議項目1～4までは、内容を確認する
 - 審議項目5.2について、作業開始に賛成する
 - 審議項目5.3について、作業開始に賛成する
 - 審議項目5.4について、新規プロジェクトが設定された場合はWG2の存続に賛成するが、設定されない場合は解散に賛成する
 - 残りの審議項目については、内容を確認し、必要に応じて対応する

<質疑>

- 審議項目5.1はアジェンダから抜けているのか(久保田)
 - 審議されると想定していたが、最新のアジェンダには載っていなかった
日本としても積極的に支持する内容ではないため、項目追加を提案する事も考えてない(中村)
 - ◇ 対処方針から削除する(清水主任)
- アジェンダに追加すべき項目はないか(事務局)

※特に追加の提案はないと確認された

<資料説明>

- 資料 16-3-4 CISPR 釜山会議 B小委員会 第4アドホックグループ(AHG4) 対処方針(案)についての説明(久保田)
 - 審議項目6について、3rdCDを国内審議の後、対処方針を決定する
 - 残りの審議項目については、内容を確認し、必要に応じて対応する

(4) 電波利用環境委員会 報告書(案)について

<資料説明>

- 資料 16-4-1 電波利用環境委員会報告(案)(B小委員会関連)についての説明(久保田)
- 資料 16-4-2 電波利用環境委員会報告概要(案)(B小委員会関連)についての説明(久保田)

<質疑>

- 資料 16-4-2の4ページ、5ページ目の「GCPC」の記載を一部「SPC」に修正が必要である(清水主任)
- 資料 16-4-2の7ページ目の「400MHzを超える周波数で～」の項目に関して反対の立場を取るとあ

るが、情報が古いままではないか（宮島(清)）

➤ 更新する(久保田)

(5) CISPR 釜山会議 参加者（案）について

- 参加者は、資料 16-4-2 電波利用環境委員会報告(案) (B小委員会関連)の8ページの通りである(清水主任)
 - エのメンバーが誤っているため、修正する(オのメンバーがエと同じ) (事務局)
 - 「合同アドホックグループ」ではなく、「ジョイントアドホックグループ」である(田島)
 - ◇ 修正する(事務局)
- 出席者を追加する
 - 総会の追加出席者：三塚
 - WG1 の追加出席者：三塚
 - WG2 の追加出席者：宮島(清)
 - ADH4 の追加出席者：野島、塚原、三沢
 - ADH5/6：司城、中田
- 清水主任が出席できないので、代表団長を誰にするか(事務局)
 - 久保田さんをお願いする(清水主任)
 - ※出席者について、特に異議なく承認された

(6) その他

- 今後の予定としては、9月18日の電波利用環境委員会での審議が(事務局)
- 次回会合は、事務局から構成員にメールにて連絡する(事務局)

以上